

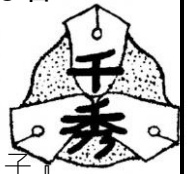
千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和3年(2021)1月6日

1月号

URL : www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/

学校教育目標『自分で考え 表現し 挑戦し続ける子』



新年に

校長 冨田 操

新しい年が始まりました。今年もよろしく願いいたします。

毎年、新年を迎えると「〇〇をがんばろう」と決意をする私ですが、それがやりきれたためしがありません。毎年、自分の弱さを感じながら年末を迎える、という有様です。

しかし、その新年の決意は無駄かという、そうでもないような気がします。この新たな決意があつてこそ、ぎりぎり少し進歩したり、少し改善したりしているような気もするのです。

強い人間というのは、いないのではないかと思います。しかし、強くあろうとする自分でいることはできます。そして、それはこうした時々の、何かをきっかけにする決意で支えられているのではないかと思います。

一年で最も新しい気持ちを自分に与えることのできるこの時期。子どもたちにもその気持ちを大切にしてもらいたい、そう思います。

こうした節目というのは、古来、人が自分たちをなんとか奮い立たせるために考えられた知恵なのでしょう。であれば、大いにそれに乗り、自分自身を少しでも磨いていく。子どもたちにも、そういう思いで、この新年を迎えてほしいと思います。

去年は、新型コロナウイルスの影響で、学校も難しい判断を、それこそ何十回としなければならぬ年でした。その判断の中には最適ではなかったものもあつたと反省しています。

ですが、その度、全教職員で知恵を絞って改善を試みました。「子どもたちの安全」と「子どもたちに何とかやらせてやりたい」という思いのバランスをとりながら最適解は何かを真摯に求め続けてきたつもりではあります。

その最終的な判断基準は「子どもたちのためになるのか」その一点でした。

しかし、結果として、一番の我慢と一番のがんばりを強いられたのは、子どもたちでした。

冬休みに入る前の朝会で、子どもたちへ「本当によくがんばった」と話しました。これほど何の教育的な意図なく自然にこみあげてくる気持ちのみで、子どもたちに良くがんばったね・・・というのはまれかもしれないと思うほど、心底そう思ったのです。

新年になったからウイルスが無くなるわけではありませんが、それでもやはり新しい気持ちを持ち「何か新しいことができるかも」というわくわくした気持ちを子どもたちにもってもらうために、千秀小全教職員もまたわくわくした気持ちを持ち、子どもたちを見守り支えていきたいと思つています。

今年もまた、様々なことが起き、様々な「良いこと」と同じくらい「上手くいかないこと」があるのだろうと思つています。しかし、決して逃げることなく、正面から誠実に取り組み、試行錯誤していきます。保護者の皆様、地域の皆様、どうか今年も千秀小学校と子どもたちを、昨年同様支えていただきますよう、よろしく願いいたします。